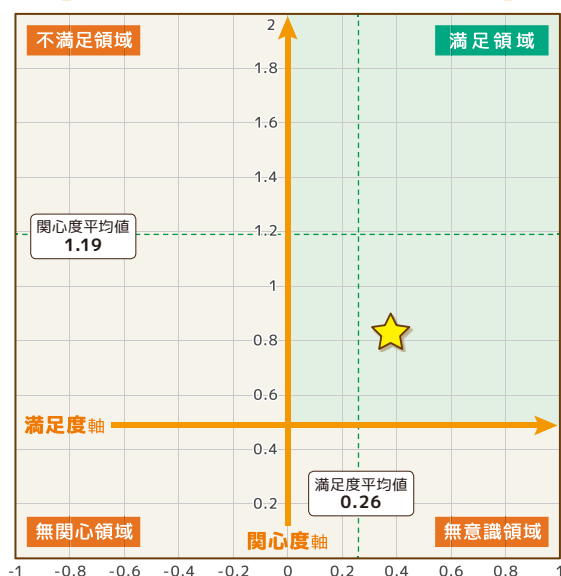


第1節 協働のまちづくりの推進

\\ みんなで実現しよう //

- 多様な主体がお互いの特徴を理解し、尊重し合える地域社会
- 多様な主体が連携・協力してまちづくりに取り組む地域社会
- 多様な主体と行政が対等な立場に立って地域課題の解決に取り組む地域社会

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



まちづくり交流会の様子

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ NPO法人と連携した事業を実施
- ★ 西条市版ローカルファンド※1の構築



※1「ローカルファンド」とは、市民による市民のための地域の貯金箱。地域社会を支える様々な分野の社会的事業について、資金面でも応援できるよう、人と人がつながり、温かいお金の流れを生み出す仕組みのこと。

関係する
個別計画

施策の内容

(1) 市民活動団体の育成・支援を図ります

協働のまちづくりを推進するため、その担い手となるNPO法人、ボランティア団体などの多様な団体が活動しやすい環境を整えるとともに、市民活動団体の育成・支援を図ります。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
NPO法人数を増加します (累計)	28団体 (令和元年度)	38団体

(2) 地域の課題解決にチャレンジする皆さまを応援します

地域課題の解決と地域資源を活用した地域活性化を推進することを目的にコミュニティビジネスを支援するとともに、ふるさと納税で市民活動団体を支援します。

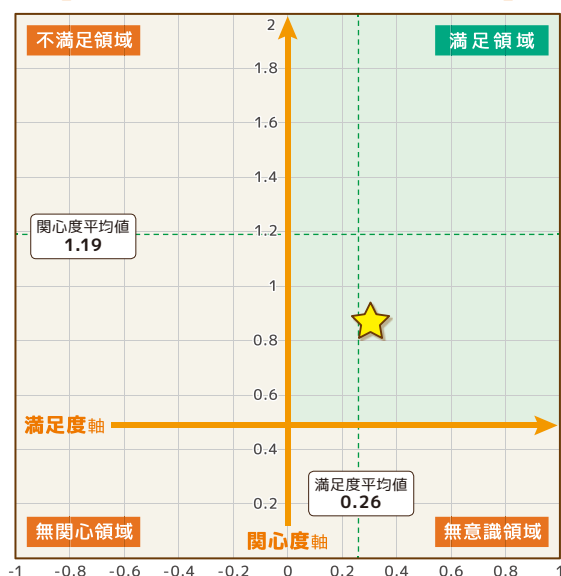
成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
コミュニティビジネスを支援します (累計)	4事業 (令和元年度)	19事業
ふるさと納税で市民活動団体を支援します (累計)	0団体 (令和元年度)	10団体 (令和2～6年度)

第2節 地域コミュニティ活動の促進

\\ みんなで実現しよう //

- 世代・性別・立場を超えて市民が活躍できる地域社会
- 市民一人ひとりの意見を尊重し、話し合いを大切にする地域社会
- 市民自ら地域課題の解決に向けて主体的に取り組む地域社会

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



地域自治組織設立に向けて話し合い

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

★ 市とパートナーシップ協定を締結する地域自治組織^{※1}の増加



※1「地域自治組織」とは、自治会をはじめ、地域で活動する団体が、より多くの住民参加のもと、団体同士が横につながることによって連携し、地域にとって本当に必要なことを話し合い、課題解決に向けて取り組むための仕組み。

関係する
個別計画

- 西条市地域コミュニティ基本指針（平成30年度）

施策の内容

(1) 地域自治組織の設立を目指します

住民の暮らしを地域で守るため、自治会をはじめ、地域で活動する各種団体が、より多くの住民の参加のもと、団体同士が横に連携し、本当に必要なことを話し合い、課題解決に取り組む仕組みとして、地域自治組織を小学校区単位に設立します。

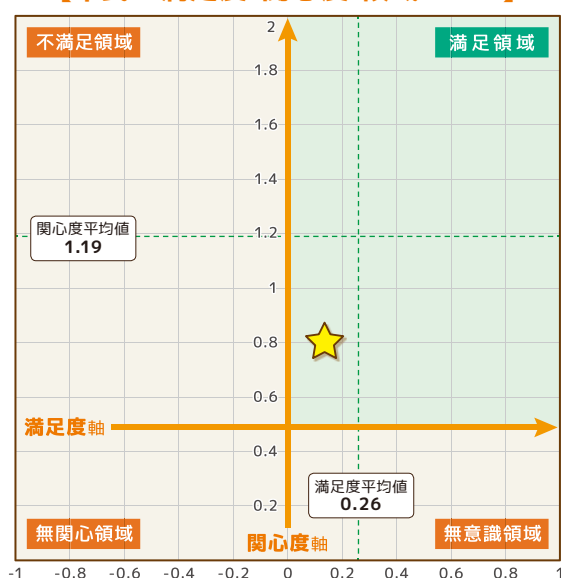
成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
地域未来ビジョンを策定した地区を増加します (累計)	3地区 (令和元年度)	27地区
公民館に配置する地域づくり支援員を増加します (累計)	2人 (令和元年度)	27人

第3節 時代の変化に対応した地域づくり

\\ みんなで実現しよう //

- 知識と経験豊かな人材が育つ地域社会
- 市民一人ひとりが性別に関係なく、個性と能力を発揮することができる地域社会
- 様々な国の人々がお互いを理解し、共生することができる地域社会

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



国際交流カフェで料理づくり

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 大学・研究機関との交流・連携推進
- ★ 社会全体で男女の地位が平等になっていると思う市民の割合の向上
- ★ 多文化共生のまちづくりに理解を示す市民の割合の向上



関係する
個別計画

- 西条市女性職員の活躍推進に関する特定計画事業主行動計画
(令和元年度見直し～令和5年度)
- 第2次西条市男女共同参画計画(平成28年度～令和7年度)

施策の内容

(1) 大学・研究機関の活用により、地域人材の育成を図ります

人口減少問題など時代の変化に対応できる人材育成を目的に、大学や研究機関の先進的な知見を取り入れ、地域との交流の場を創出します。地域への専門的な知識の蓄積や地域資源の掘り起こしをすすめます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
大学・研究機関との交流人口を増加します (累計)	398人 (平成30年度)	2,000人
地域創生センター滞在者数を増加します (累計)	143人 (平成30年度)	500人

(2) 男女共同参画を推進します

男女共同参画社会^{※1}の実現を目的に、男女共同参画の視点に立った意識改革と、誰もが育児・介護休暇を取りやすい環境づくりを推進します。また、政策・方針決定過程への女性の参画を拡大し、女性の感性、経験や知恵が活かされ、反映されるようにします。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
市が設置する審議会など ^{※2} における女性委員の割合を向上します	23.5% (令和元年度)	25.0%
市職員の女性管理職の登用率を向上します	16.5% (令和元年度)	20.0%

※1 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会をいいます。

※2 政策の立案、運営に当たり専門知識を導入し、各種の意見を反映させるため、行政機関に設置される諮問のための合議制の機関で、審議会、委員会、協議会などの名称で呼ばれるものをいいます。

(3) 多文化共生を推進します

多文化に触れることにより、国際化に対する市民意識を高揚させることを目的に、年々増加する外国人住民との相互理解を深めることを推進します。また、外国人住民が、地域住民と信頼関係を築き、共生することができる環境づくりをすすめます。

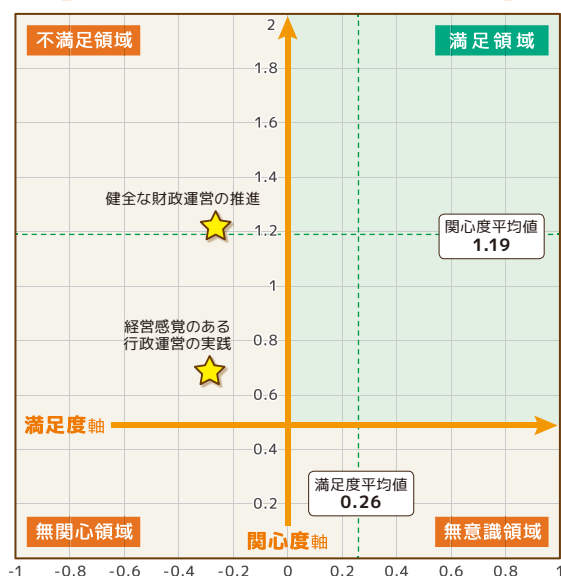
成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
各種国際交流イベント、語学講座への参加者数を増加します	3,000人 (平成30年度)	3,500人
国際ボランティアの登録者数を増加します (累計)	81人 (平成30年度)	100人

第4節 経営感覚のある行財政運営の実践

\\ みんなで実現しよう //

- 業務改善や民間活力の活用などによる効率的かつ効果的な行財政運営
- 財政健全化による持続可能な行財政運営

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



将来を見据え、公共施設のあり方を考える

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 働き方改革・業務効率化の推進
- ★ 財政健全化判断比率^{※1}の維持（早期健全化基準以内）



※1「財政健全化判断比率」とは、財政状況を判断する比率で、早期健全化基準や財政再生基準等が設定されており、基準値を上回ると財政の健全化に向けた改善措置が義務付けられている。

関係する
個別計画

- 西条市新市建設計画（令和2年度～令和6年度）
- 西条市公共施設等総合管理計画（平成29年度～令和38年度）
- 第三次西条市行政改革大綱、実施計画（平成28年度～令和2年度）

施策の内容

(1) 業務の効率性を向上します

限られた人材や財源を有効に活用することを目的に、ICT化の推進や指定管理者制度など民間活力の活用により、効率的かつ効果的な行政事務の実現に向けて取り組みます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
定型業務の自動化などを通じて作業時間を削減します (累計)	—	50%削減※2
指定管理者制度を活用した公の施設を増加します (累計)	19施設 (令和元年度)	42施設

※2 「50%削減」は、自動化などを実施した業務における削減率である。

(2) 健全な財政運営を推進します

安定した財政基盤を確立するため、随時事務事業の見直しを行い、事務コストの削減と事業のスリム化により、限られた財源の効率的運用に取り組むとともに、社会環境の変化などによる、新たな行政課題への取り組みを着実に進めます。また、公共施設の適正配置と有効活用を推進します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
財政力指数※3を維持します	0.69 (平成30年度)	0.69
経常収支比率※4を維持します	89.8 (平成30年度)	89.8
公共建築物の延床面積を削減します (累計)	—	3%削減

※3 「財政力指数」とは、財政力を示す指数で、数値が高いほど、自主財源の割合が高く財政状況に余裕があるとされる。

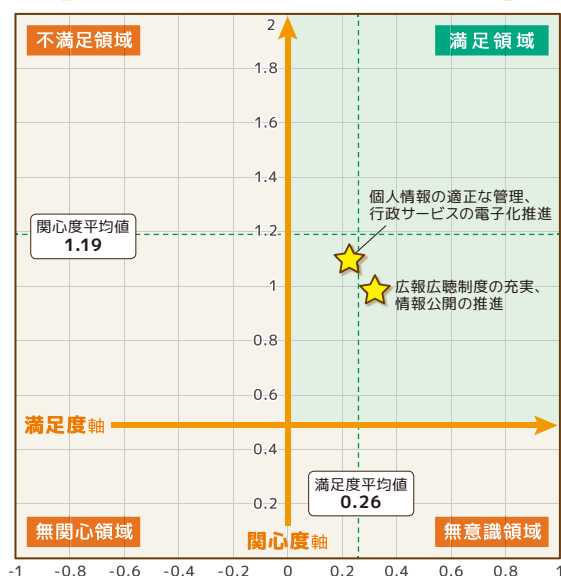
※4 「経常収支比率」とは、財政構造の弾力性を判断する比率で、数値が低いほど財政運営に余裕（弾力性）があり、独自の政策に使える財源が多くあるとされる。

第5節 行政情報の運用

\\ みんなで実現しよう //

- 効率的な情報システムの運用により市民サービスが公平に行き渡る地域社会
- ICTを活用した利便性と質の高い市民サービスを実感できる地域社会
- 市民と行政のパートナーシップに基づく対話や情報共有による開かれた地域社会

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



タウンミーティングで意見交換

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 情報システムの管理・運用経費の削減
- ★ 市民の行政情報の運用に関する満足度向上
- ★ 地域の声が行政に反映されていると回答する市民の割合の向上



関係する
個別計画

- 西条市シティプロモーション戦略（令和2年度～令和6年度）
- 西条市統合型GIS基本計画（平成20年度～令和4年度）

施策の内容

(1) 情報システムの適正な管理と効率的な運用を図ります

業務で利用する情報システムや通信インフラの適正な管理及び運用経費の削減を目的に、業務システムの自治体クラウド化を推進します。また、老朽化が進む自営光ファイバー回線から、より安定した回線に切り替え、業務用通信インフラの効率的な運用に取り組みます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
基幹業務システムの共同利用を実施します	単独利用 (令和元年度)	共同利用
業務用通信回線のうち民営回線を利用する割合を向上します	78% (令和元年度)	100%

(2) ICTを活用した行政サービスを推進し、市民サービスを向上します

より多くの市民がICTを活用した利便性と質の高い市民サービスを利用できることを目的に、スマートシティ西条の構築に向けた取組を推進し、市民の満足度を向上します。また、マイナンバーカードの活用を推進し、カード普及率向上に取り組みます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
ICTを活用した市民サービス利用者数を増加します (累計)	約20,000人 (令和元年度)	約24,000人
マイナンバーカードの普及率を向上します (累計)	8.03% (平成30年度)	100%

(3) 広聴制度の充実を図ります

市民協働のまちづくりを進め、パートナーである市民との継続的な対話や情報共有を通じた関係構築 (PR (パブリックリレーションズ)) を図ることを目的に、市民の意見や提言を幅広く聴くための広聴活動を充実します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
地域からの課題提案によるタウンミーティングを開催します	全地区 (令和元年度)	全地区
市長と井戸端会議の開催団体数を増加します	12団体 (平成30年度)	16団体